

いちよう

「すこし不思議な話」

本龍院執事 深谷昌広

待乳山の聖天様にお勤めしていると、ふとした日常の中にも、少し不思議なことが起こる時もあります。

例えば毎月お参りされている方が何かの事情でお参りに見えなかった時に、「最近〇〇さんがお参りに来ていないようだけど、どうしたのかしら」と話をすることがあります。するとその日の午後にでも「今月は忙しくて、なかなかお参りに来られなかったよ」とそのご本人がひょっこりとお参りに来られることが頻繁にあります。

「噂をすれば影がさす」と諺にもありますが、中には「聖天様に呼ばれた気がして、お参りに来ました」とおっしゃる方もいるので、本当に聖天様がお招きになったのかもしれませんが。

また、先日こんなこともありました。外国にお住まい日本人の方から「論文執筆中で、資料の中に記載があった待乳山の“日月の碑”について知りたい」と当山にメールでのお問い合わせがありました。現在の境内には「日月の碑」はございません。恥ずかしながらその碑があったという話も知りませんでした。その旨をお答えしましたが、先方から碑についての説明が届きました。それによると、どうやらかつて日と月が一對となった歌碑があったとの事。

そのメールを読んだ時、脳裏に一枚の浮世絵が浮かびました。そのイメージを頼りに過去の資料を調べると、5年ほど前の浮世絵展で展示

した一枚のパネルが見つかりました。境内にたたく女性のお尻に日輪と三日月のマークが入った一對の石碑。勝川春潮作『待乳山』。まさにこの絵です。

5年も前の一枚のパネルをなぜ思い出せたのか、我ながら不思議です。きっと学問の神様でもある聖天様が、論文を頑張っている方に私を通してお力添えをしてくださったと思います。一生懸命に何かを求める人に対して、聖天様がお助けくださる。そんな一例を自ら体験いたしました。



他者への思いやり

日頃電車を利用する機会が多々ありますが、お年を召された方が近くにいる時、「優先席に座りスマホをいじっていないで席を譲ってあげればいいのに」と思うことがあります。

人間の性として、私たちはどうしても自分中心に考えてしまうことがあります。ああしたい、こうしたいとまわりに望むことが多くなりがちなのです。我欲が先立つのです。

伝教大師最澄さまの言葉に『己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり』という言葉があります。自分のことは後にして、まず人に喜んでいただくことをする、それは仏さまの行いで、そこに幸せがあるのだという言葉です。つまり我欲が先に立つような生活からは幸せは生まれないのだということです。

冒頭に電車の例を挙げましたが生活の中で、自分中心的な考え方になってしまうこともしばしばあるかと思います。ですが、そんな時こそ自らの行いを反省し、見つめなおすことが日々の生活から幸せを見つける方法の一つなのではないでしょうか。

*忘己利他(もうこりた)―最澄が著した山家学生式内の一句。

*山家学生式―比叡山上に大乘戒壇を設けてもらえるよう天台宗の僧侶の教育方針や規定を記したもの。



◀ 行事報告 ▶

「地蔵尊供養会 報告」

6月24日(金)地蔵尊供養会を地蔵堂で宝前にて執行いたしました。3年近く見合わせておりましたご信徒様の講中参加を当講から緩和させていただき、多数のお参りをいただきました。

また翌25日の合同大般若法要のご参加も再開させていただきました。両日とも猛暑のなかではございましたが、ご信徒の皆様は充実した様子でした。



「礼拝作法説明会 報告」

7/3(日)「礼拝作法説明会」を開催しました。

5/29・6/5と都合3回行い、合わせて100名以上のご信徒様にご参加いただきました。



▶ 行事紹介 ◀

灯明講

8月20日(土) 午前11:00 講金:1,500円也

8月20日、灯明講大般若法要を執行いたします。

仏前にお供えする日本の蠟燭は仏教とともに中国から伝わったと言われております。当時、蠟燭は世界的に貴重で贅沢品として扱われ、多くの庶民は蠟燭を使わず菜種油等に火を灯して明かりとしていました。スイッチをONにし照明が灯って当たり前の現代において、電気のない頃の生活は想像もつかないでしょう。

先日も政府より『電力需給ひっばく注意報』が出され猛暑日の中、節電に協力された方も多いでしょう。このような、注意報が出されずとも、日頃より灯りに対し感謝の気持ちを持ち、環境に優しくエコな考えをもっていれば平常心を保っていられるのかもしれない。

1年に1回の灯明講ではありますが、灯りに対し考えを見つめなおす機会となれば幸いです。法要後、ご自宅に用いる蠟燭を授与いたします。

感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。



期間限定行事

「お勤め入門」

住職より経本を用いたお勤めの仕方を実践を交えながら解説いたします。

定員
30名

日時:8月7日(日) 午前9:00
場所:待乳山本龍院 信徒会館大広間
参加費:無料

※経本と念珠をお持ちの方はご持参ください。
貸出用も用意いたします。

お知らせ

【諸行事参加について】

●朝まいり会・写経の会・坐禅の会 ▶予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会・写経の会・坐禅の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月1日から7日(正月は8日から14日まで)開催しております。写経の会は第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ午前10時の開催となります。坐禅の会は第4土曜の開催となります。



～錦鯉(にしきごい)～

平成16年、開山1410年事業の一つとして、庭園の池を拡張し現在の池の面積になりました。その際、放生会を行い30匹の錦鯉が世話人により放たれました。

現在では池の中には40匹程の錦鯉が放流されております。日本では19世紀に新潟県で錦鯉の飼育が始まり、時代を追うごとに品種は増え、今では約130種類ともいわれております。

当院には『黄金』『紅白』『大正三色』『昭和三色』『白写り』の5種がいるそうで、その色鮮やかな姿と庭園ののどかな雰囲気が参拝者の五感を刺激しているようです。ご参拝の際にはどうぞ足をお運びください。写真は池清掃を行った際のものであります。



8月行事予定

灯明講

8月20日(土) 午前11:00 講金:1,500円也

講中はご信徒様にも感染対策にご協力の上、法要にご参加いただける予定です。

合同大般若法要

8月25日(木) 午前11:00 法要料:5,000円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。

ご信徒様にも感染対策にご協力の上、法要にご参加いただける予定です。

(各法要は社会情勢に応じて、参加をお断りする場合がございます、その際 HP などで告知致します)

各法要は引き続きライブ配信も行います。そちらもどうぞご利用ください。

※下記行事のご参加は事前予約制です。予約は毎月15日より(080-7419-1297)まで。

朝まいり会

8月1日～7日 午前8:00～8:30 会費:500円也

お勤め入門

8月7日(日) 午前9:00 会費:無料

写経の会

8月13日、14日(土、日) 午前10:00 会費:500円也

坐禅の会

8月27日(土) 午前9:30～10:30 会費:500円也

9月の行事

開山会

9月20日(火) 午前11:00 講金:3,000円也



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。

ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。

